

(端裏書)

「大谷 □^(九カ) 右衛門様

勝野六太夫」

四郎五郎被申候^者、先日^者

遠方御出候処他出不能

面談残念^ニ存候、首尾能

御目見へ相済候段承知

目出度御事^ニ候、拙者此方^ニ而

態出来合之料理進申

度由候間、明三日昼時分より

御出可被成候、若明日御隙入候ハ、

明後四日之昼時分より御出

待入候、右両日之内其元御

勝手次第必待入候、左候ハ、

御出可被成日可被仰聞候

此等之趣拙者より申入候様^ニと

被申候付如此候、以上

四月二日